

図書館だより

●開館時間●

9:00 ~ 18:00

●11月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ 休館日

■ おはなし会

■ ひろたのみんなのおはなし会

■ にここほっぺのおはなし会

砥部町立図書館

☎ (962) 4400

新着紹介

『世界で一番美しい寝る姿勢の物語』

MdN編集部

『空気を読みすぎると子どもたち』

古荘 純一

『連のゆくえ』

梶 よう子

『調味料保存&使い切りのアイデア帖』

島本美由紀

『黙示』

今野 敏

『ボニン浄土』

宇佐美まこと

『イーブン』

村上しいこ

『なぜ僕らは働くのか』

池上 彰

『サーカスが燃えた』

佐々木 譲(文) 中島 梨絵(絵)



『ヒポクラテスの試練』
中山七里 祥伝社 刊

急激に悪化する謎の「肝臓がん」。相次ぐ不審死は、未曾有のパンデミックの始まりなのか？死者の声なき声を聞く、法医学ミステリー・シリーズ第3弾。『小説NON』掲載を単行本化。



『あしたの華姫』
畠中恵 KADOKAWA 刊

両国の地回りの親分に跡目争いが持ち上がる。娘のお夏を守るように命じられたヘタレの芸人月草が、「まこと」を見通す姫様人形お華と、西へ東へ駆け回る！



『おいしいサブレの秘密』
下園昌江 文化学園文化出版局 刊

バターをたっぷり使った焼き菓子、サブレ。温度によって形状が変わるバターの性質を利用して、「ねりねりバター」「さらさらバター」「とろとろバター」の3つの異なる食感の絶品サブレを紹介します。

役者 井上正夫

☎ (962) 5952
社会教育課文化スポーツ係

連鎖劇という演劇をご存知でしょうか。舞台劇と活動写真(映画のこと)を組み合わせて見せる演劇のことで、大正時代前半に流行しました。

井上正夫は、新派劇の人気が行き詰っていたので、新たな観客の獲得のため、1915(大正4)年から18年まで連鎖劇に出演します。

井上が連鎖劇出演を決めた時、周囲から「新派劇界の裏切者」と非難され、「今後連鎖劇に出演した俳優とは絶対に共演しない」と言われました。

しかし、井上が連鎖劇で出演した浅草の御園(みくに)座は満員盛況で、感激した観客から「井上！井上！」と声をかけられ、新しいファンを増やすことに成功したのです。

当時の新聞記者松崎天民は、「彼を公園(浅草公園)に有して居る事は、公園全体の誇と云って宜く」と井上を評しました。また、天野忠義は「連鎖劇の俳優となって出

演したので各階級の人から『井上は活動俳優に下ったよ』とか『井上も随分墮落したものだ』と異口同音に評され(中略)だが、人の噂も七十五日、過ぎてからは罵詈雑言を浴せるものもなくなかって公園劇界(注1)の品位を革新した」と称賛しています。

(学芸員 宮本直美)

〔注1〕

公園劇界とは浅草公園内での演劇の世界のこと。

浅草公園は、明治19年に都市公園として浅草寺(東京)の境内に開園し、歓楽街には演劇場が建ち並んでいた。

大正6年連鎖劇のパフレット

